

株式会社福南建設 村教 育委員会へ寄付金贈呈

7月14日(金)役場村長室にて、株式会社福南建設の吉田喜洋社長より村教育委員会へ寄付金が贈呈されました。

福南建設からは長年にわたり多額の寄付金をいただいております。いただいた寄付金は村内小学校や泉崎図書館の図書環境の充実や奨学金などに活用させていただきます。ありがとうございます。

吉田社長と福南建設の皆さんの想いを大切に、より一層村の教育活動を充実させることができるように努めてまいります。



寄付金を手渡す吉田社長

湯田統真さん(仙台育 英)夏の甲子園出場

村出身の湯田統真さんが所属する仙台育英学園高校は、第105回全国高等学校野球選手権宮城大会(7月7日(金)開幕)で優勝し、第105回全国高等学校野球選手権大会(8月6日(日)～23日(水)兵庫県にて開催)に出場し、見事準優勝に輝きました。

8月2日(水)に統真さんの父・利行さんがあいさつのために来庁し、激励金交付式が行われ、田崎副村長より激励金が贈られました。

同校3年生の統真さんは、1回戦から決勝戦までの全6試合に登板し、大車輪の活躍でチームの準優勝に大きく貢献しました。



激励金を受け取る父の利行さん

関根叶恋さん(泉崎二 小)全日本女子学童軟式 野球大会出場

村内在住の関根叶恋さん(泉崎二小4年)は、東北ジュニアスポーツ少年団ESに所属し、その活躍から福島県選抜チームのスマイル福島ガールズベースボールクラブのメンバーに選ばれました。

関根さんはNPBガールズトーナメント2023全日本女子学童軟式野球大会(7月25日(火)～31日(月)石川県にて開催)に出場しました。

7月14日(金)関根さんがあいさつのために来庁し、激励金交付式が行われ、田崎副村長より激励金が贈られました。



激励金を受け取る関根さん

荒川一三さん北日本古希 軟式野球大会出場

村内在住の荒川一三さんが所属する白河楽翁クラブは、令和4年度に開催された各大会の実績が高く評価され、北日本各道県連盟推薦の32チームが出場する、第15回北日本古希軟式野球大会(8月18日(金)～21日(月)山形県・山辺町民野球場他3会場で開催)に出場しました。

8月2日(水)荒川さんがあいさつのために来庁し、激励金交付式が行われ、田崎副村長より激励金が贈られました。



激励金を受け取る荒川さん

納税功労者感謝状贈呈

泉崎村は令和4年度個人県民税優良市町村として、福島県知事の感謝状が3年連続で贈呈されました。

7月28日(金)役場にて感謝状の伝達式が行われ、伊藤智樹福島県南地方振興局長が箭内村長に感謝状を贈呈し、感謝の意を伝えました。

泉崎村では白河地方広域市町村圏整備組合の滞納整理事業の活用等による厳正な滞納処分の実施などにより、令和4年度の収納率が96・85%となり、前年度に対して0・36ポイントを上回る徴収成績を上げ、さらに現年度分と滞納繰越分の合計の徴収率が95%を上回り、納入成績が顕著であると評価されました。



感謝状を手渡す伊藤局長

株式会社朝日ラバー 卓球ボール寄贈

8月3日(木)泉崎中学校体育館にて、株式会社朝日ラバーの堀部長、佐藤グループ長から、泉崎中学校卓球部へ卓球ボールの寄贈があり、男女卓球部の代表生徒が受け取りました。寄贈された卓球ボールは大事に使わせていただきます。

また、令和5年度の朝日ラバー杯中学校卓球大会については日程等の調整が合わず、中止となりましたが、昨年引き続き、前回大会に参加された18校全ての中学校へ練習球を寄贈していただきました。ありがとうございました。



卓球ボールを手渡す佐藤グループ長

泉崎バレースポーツ少年 団県ベスト8入賞

7月1日(土)・2日(日)に開催された、第43回全日本バレーボール小学生大会福島県大会において、泉崎バレースポーツ少年団(女子)は、県ベスト8に入賞しました。

1回戦県北の庭坂に2-0、2回戦会津地区の田島に2-0で勝利しました。3回戦いわき第一代表の小名浜西に0-2で惜しくも敗れてしまいました。選手たちは気迫あふれるプレーを見せてくれました。

今後も次の県総体に向けて、頑張ってください。



県ベスト8に輝いた選手の皆さん

泉崎バレースポーツ少年 団地区大会4位入賞

7月22日(土)、23日(日)に小野町民体育館で開催された第76回福島県総合スポーツ大会スポーツ少年団バレーボール競技県南地区大会において、泉崎バレーボールスポーツ少年団(女子)は、白熱した粘り強いプレーを繰り広げ、4位入賞し、県大会出場を決めました。

県大会は、8月26日(土)・27日(日)に新地町総合体育館で開催されました。選手の皆さん、大変お疲れ様でした。今後も上位入賞を目指して頑張ってください。



バレースポーツ少年団の皆さん

いちよの会 横穴周辺除草作業

7月8日(土)早朝、泉崎村いちよの会による国指定史跡「泉崎横穴」周辺の除草作業とさつきの剪定が行われました。

同会は、高齢化が進んでいますが、草刈り機械の操作は手の物、白石山の傾斜をもともせず、横穴周辺土手の中腹まできれいに除草しました。

いちよの会では会員を募集しています。小学校や幼稚園のイベントのお手伝い、12月には、門松を作り、幼稚園や役場、カントリーヴィレッジに設置しています。1月には、どんど焼きを主催しています。

詳細については、中央公民館(☎53・2258)までお問い合わせください。



草刈りの様子

鳥峠自然観察会

8月4日(金)村教職員向けの自然観察会が、鳥峠の自然を守る会により開催されました。

村の財産である鳥峠に登り、自然体験を通して自然の豊かさ・大切さを実感し、子どもたちへの教育に役立ててもらうことを目的として実施されました。

自然や植物の案内を受けながら頂上を目指し、頂上では、実際に子どもたちが授業の一環で自然観察会をする時と同じプログラムを先生方にも体験していただき、鳥峠の自然を感じながら会員との交流を楽しみました。



自然観察会に参加された皆さん

放課後子ども教室

「夏休み学習会」

放課後子ども教室の「夏休み学習会」が、7月26日(水)に第一小学校で、7月28日(金)に第二小学校で開催されました。

地域のサポーターさんに見守られる中、それぞれの夏休みの宿題に取り組みました。

中には予定よりも進み、夏休みの宿題をすべて終わらせる児童もおり、どの児童もとても素晴らしい姿勢で集中して学習に取り組んでいました。

みんなで一緒に取り組むと、いつもよりも頑張ることができるといった声もあがっていました。



集中して学習に取り組む児童

放課後子ども教室

「夏祭り」

8月6日(日)中央公民館にて、放課後子ども教室「夏祭り」が開催され、多くの児童が参加しました。

夏祭りでは、バルーンアート体験に講師として横田雅仁先生、放課後子ども教室のサポーターの皆さん、地域のボランティアの皆さんにも当日の運営にご協力いただき、輪投げや工作、スーパールールすくいなどで盛り上がりました。夏祭りを通して多くの地域の方と触れ合う時間となりました。

ご協力をいただきました皆様、ありがとうございました。



バルーンアート体験の様子

幼稚園「ちびっこ夏祭り」

7月29日(土)泉崎幼稚園にて、PTA主催「ちびっこ夏祭り」が行われました。新型コロナウイルス感染症対策緩和に伴い、今年度は学年ごとの入れ替え制による親子での参加となりました。

かわいい浴衣や甚平を着て登園し、夏祭りに向けて練習してきた「もったいないばあさん音頭」を元気に踊り、「水ヨーヨー」、「くじ」、「駄菓子」、「かき氷」、「スタンプラリー」などのお店巡りを楽しみました。その後、園長先生手作りの紙飛行機が手渡されました。閉会式では、一人ひとりがお土産の手持ち花火を担任から受け取り、嬉しそうにして降園しました。

年長組の子どもたちは、お店巡りの後に園庭にて、親子で素敵な打ち上げ花火やナイヤガラ花火を鑑賞し、夏を満喫しました。

た。

夏ならではの体験である「ちびっこ夏祭り」を開催するために、この日に向け準備していただいた本部・クラス役員の皆様、そしてご理解とご協力をいただいた保護者の皆様、心より感謝申し上げます。子どもたちにとっても思い出に残る良い経験となりました。



開会式の様子



かき氷を食べる子どもたち

泉崎村誘致企業 第一号

明星電気株式会社

●クリーンな職場環境
●地元就職に最適!

泉崎村大字泉崎字十八夜 1
TEL 0248-53-2611
<https://meiseidenki.co.jp/shirakawa/>

生徒募集 幼稚園のお子さんから 大人の方まで♪

金子ピアノ教室

〒969-0106 泉崎村大字関和久字八雲神社6-4
金子 実千代 TEL 0248-53-3851

保育所「花火大会」

7月14日(金)泉崎保育所にて、花火大会が開催されました。

保育室やホールに職員手作りの「お化け屋敷」、「ヨーヨーつり」、「くじ引き」のお店が並び、かわいい浴衣や甚平の子どもたちが保護者の方と巡りました。所庭にはフットブースコーナーもあり、記念撮影をする姿も見られました。

花火大会のオープニングでは、2歳児の子どもたちが「アンパンマン音頭」を披露しました。きれいな花火が盛大に上がると、子どもたちからは拍手が起こり、クライマックスの「ナイヤガラ滝」では、ひとさわ大きな歓声が上がりました。



ヨーヨーつりの様子



「アンパンマン音頭」を踊る子どもたち

保育所「すいか割り会」

8月3日(休)泉崎保育所ホールにて、すいか割り会が行われました。

すいかの話の聞いたり、クラスごとに本物のすいかに触れたりしました。その後、2歳児の子どもたちが不織布で作ったレプリカのすいかで、すいか割りの体験をしました。すいかは給食の時間にみんなで美味しくいただきました。



すいかに触れる子どもたち

外国語指導助手クリスティーナ先生が任期を終え出国

平成30年4月に来日し、村外国語指導助手として勤務したクリスティーナ先生は、5年間の任期を終え、8月18日(金)に出国されました。クリスティーナ先生は、第一小学校と中学校、中央公民館で英語教育にご尽力いただき、惜しまれながらの出国となりました。今後は、韓国で英語教育に携わっていきます。

～クリスティーナ先生からのメッセージ～

5年前、アイルランドから泉崎村に引っ越してきましたが、その初日に「ようこそ」というように桜の花びらが舞っていたのが最初の思い出でした。そのときから泉崎村の魅力は増すばかりでした。泉崎村の皆様はとてもフレンドリーで、歓迎してくださり、そのおかげで泉崎村が私のホームになって、一度もホームシックを感じることはありませんでした。

この5年間、地域の行事に参加させていただいたり、日本文化を教えていただいたりした泉崎村の皆様にご感謝いたします。また、言葉や文化の壁があるにもかかわらず、多くの方が私を支えてくれました。ここで過ごした時間を振り返ると、たとえ新型コロナウイルスでさえも、私が長年にわたって築いてきた素晴らしい思い出や友情に影を落とすことはありませんでした。

私が泉崎村で教師を始めたとき、ここでの勤務が終わったらメディア業界に移るという計画がありました。しかし、生徒たちの前向きな姿勢と、素晴らしい教師陣との経験のおかげで、私は教育と文化交流に対する情熱に気づき、教師としての職業を追求することを決意しました。まだまだ学ぶことはたくさんありますが、韓国で英語を教え、今後数年間勉強した後、泉崎村で学んだことを取り入れて、世界中の生徒たちに日本語と日本文化を伝えていきたいと思っています。

世界のどこにいても、春が来て、風が桜の花びらを木々から運んでくるのを見ると、私はいつも「ホーム」と呼んだ泉崎村に来た最初の日を思い出します。

